**＊＊＊**

世界ジオパークを活用したＥＳＤの実態

―義務教育段階の学校教育を中心に―

大和　大地＊（奈良教育大学）・吉備　ジオ美（岡山大学・院）

Ⅰ　目的と背景

本研究の目的は、日本における世界ジオパークを活用した学校教育や生涯学習の課題と可能性を、ESDの観点から示すことである。

世界ジオパークは、世界遺産等と並ぶユネスコの正式プログラムである。ユネスコのウェブサイトでは、「保護と教育と持続可能な開発というホリスティックな概念で管理された、国際的にみて地質学的に重要なサイトや景観のある、ひとかたまりの地理的範囲」（筆者訳）と定義されている。

ああああああああああああああああああああああああああああああああああ

|  |
| --- |
|  |
| 図1　ユネスコ世界ジオパークのロゴ  洞爺湖有珠山ジオパークのウェブサイト（http://www.toya-usu-geopark.org/archives/8205）から転載。 |

いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい

Ⅱ　方法

糸魚川ジオパーク、洞爺湖有珠山ジオパーク、隠岐ジオパーク、山陰海岸ジオパーク、島原半島ジオパークの域内にある小学校・中学校など義務教育段階の学校計15校において、うううううううううううううううううううううううううう

また、域外の学校における実態も把握すべく、奈良県と岡山県のえええええええええええええええええええええええええええええええええええええ

Ⅲ　結果と考察

本研究の成果は3点にまとめられる。第一に、おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお

あああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい

ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううう